

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 073	提案機関名 神奈川県内水面漁業協同組合連合会
要望問題名 マス類・在来ヤマメの種苗生産について	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 アユを対象とした遊漁者人口は、減少傾向にあります。しかし、一方では、自然環境に恵まれた渓流域でヤマメ、ニジマス類などの魚を対象とした魚釣りが、若者を中心に大きな広がりを見せ、遊漁者人口も増加しております。 これら釣り人の期待に応え内水面漁業の振興発展を図ってゆくためには、溪流魚の量産体制の整備並びに本県在来系ヤマメの種苗生産を早期に実施願いたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 在来ヤマメ漁場環境再生事業		
対応の内容等	在来魚の種苗生産については、本県の「農林水産関係試験研究推進構想 水産部の部(令和5年3月)の試験研究課題(中課題)で「在来ヤマメの保全と増殖技術の開発」として掲げております。 そこで、溪流魚を活用して内水面漁業の振興を図るため、丹沢在来ヤマメを由来とする種苗の生産技術開発や内水面漁業者への技術普及を進めているほか、今後は養殖業者への種苗生産技術の普及も図り、量産体制の拡充にも取り組んでまいります。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			